Japan Lifeline Co., Ltd.

2010年3月期決算説明会

2010年5月27日

日本ライフライン株式会社

Japan Lifeline Co., Ltd.

2010年3月期決算報告
2011年3月期業績予想

常務取締役管理本部長
政 次　浩 二

2010年3月期決算のポイント

◆売上数量増が収益増に直結

リズムディバイス売上高 前期比18.9％増

EPカテーテル売上高 前期比33.4％増

◆人工血管事業の転換

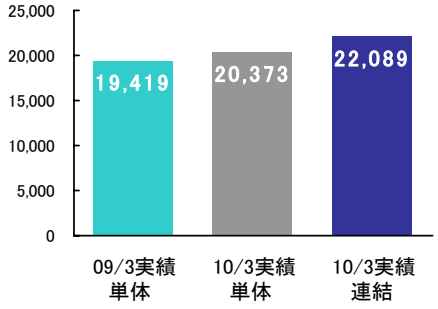
自社グループ製人工血管へ切替　前期比69.2％減

◆子会社損益の連結

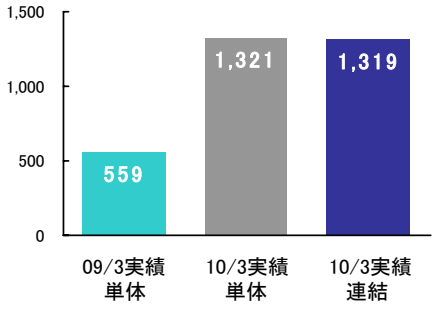
2010年3月期通期業績

（単位；百万円）	単体			連結		
	2009/3期 実績	2010/3期 実績	前期比 増加率	2010/3期 予想	2010/3期 実績	予想比
売上高	19,419	20,373	4.9%	22,174	22,089	99.6%
営業利益	559	1,321	136.3%	1,261	1,319	104.6%
経常利益	805	1,442	79.1%	1,287	1,423	110.6%
当期純利益	186	587	215.6%	546	562	102.9%

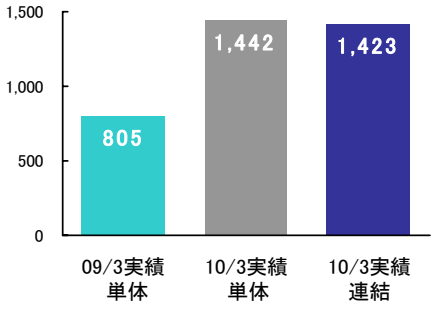
-売上高-



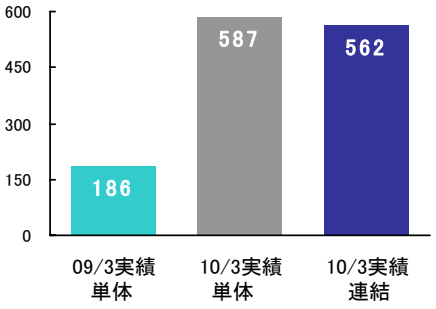
-営業利益-



-経常利益-



-当期純利益-



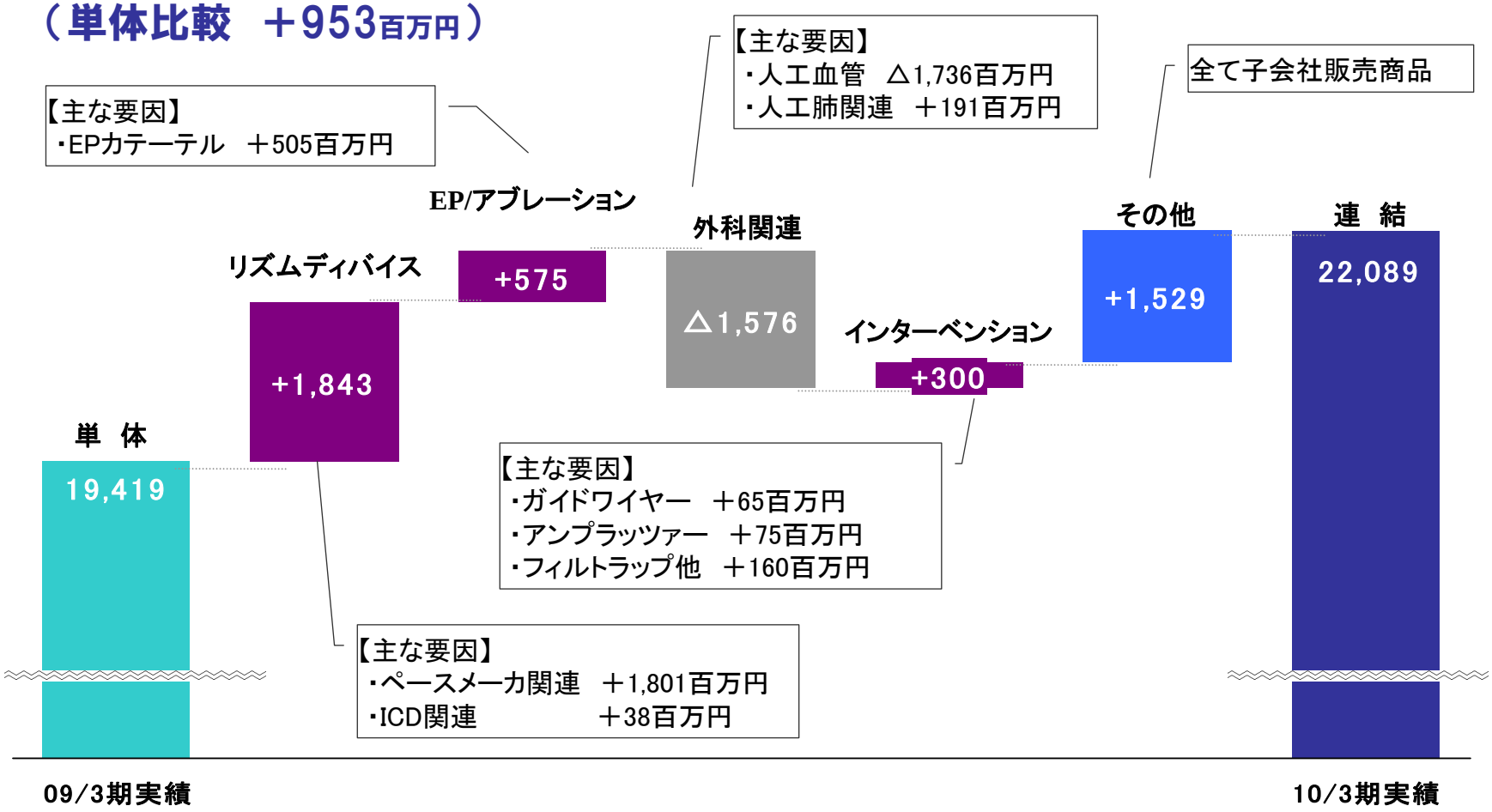
（単位：百万円）

前年同期比較－売上高

◆前年同期比　+2,670百万円

※「リズムディバイス」、「EP/アブレーション」、「インターベンション」はJLLのみの売上高

（単体比較　+953百万円）

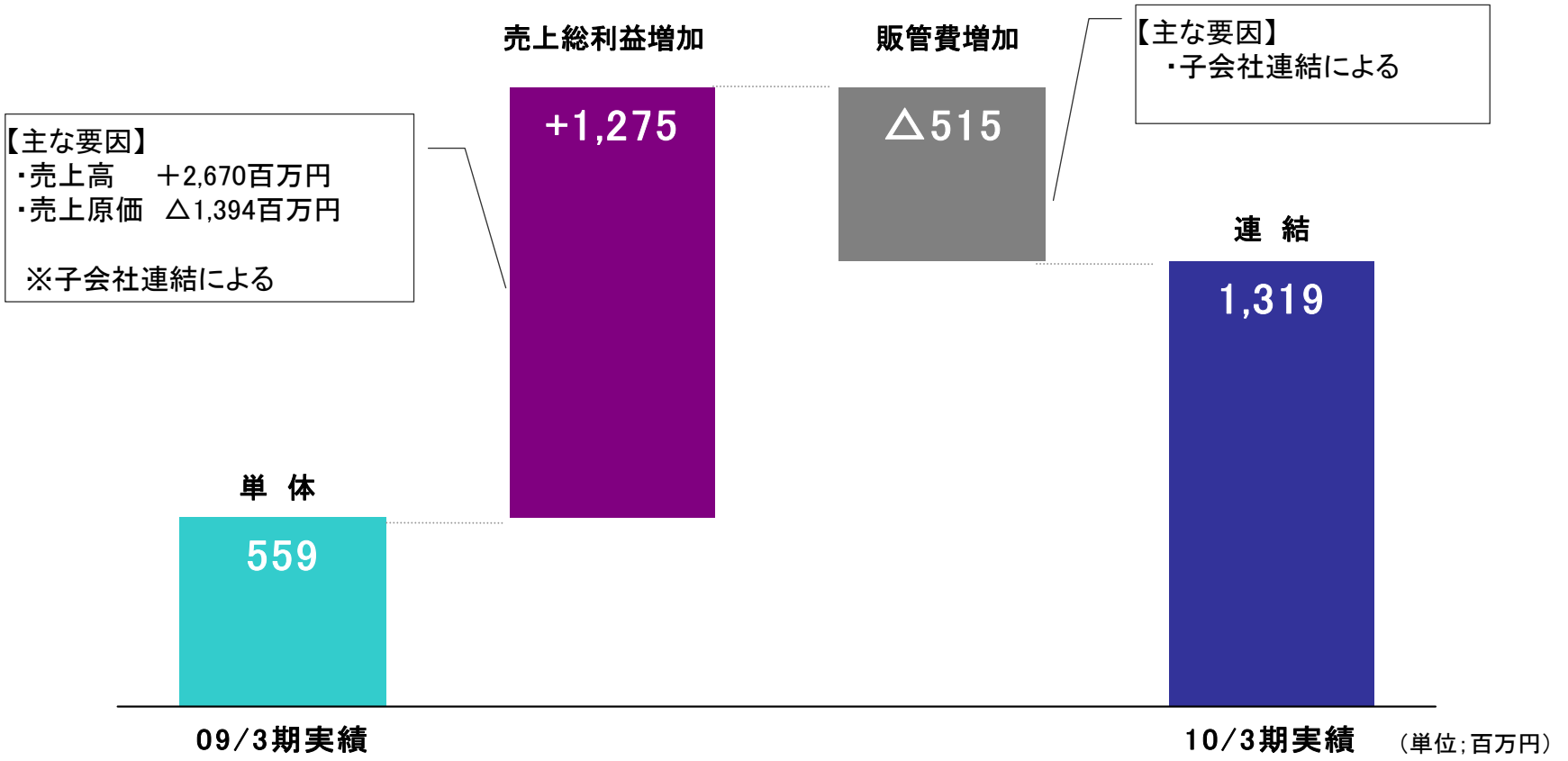


（単位；百万円）

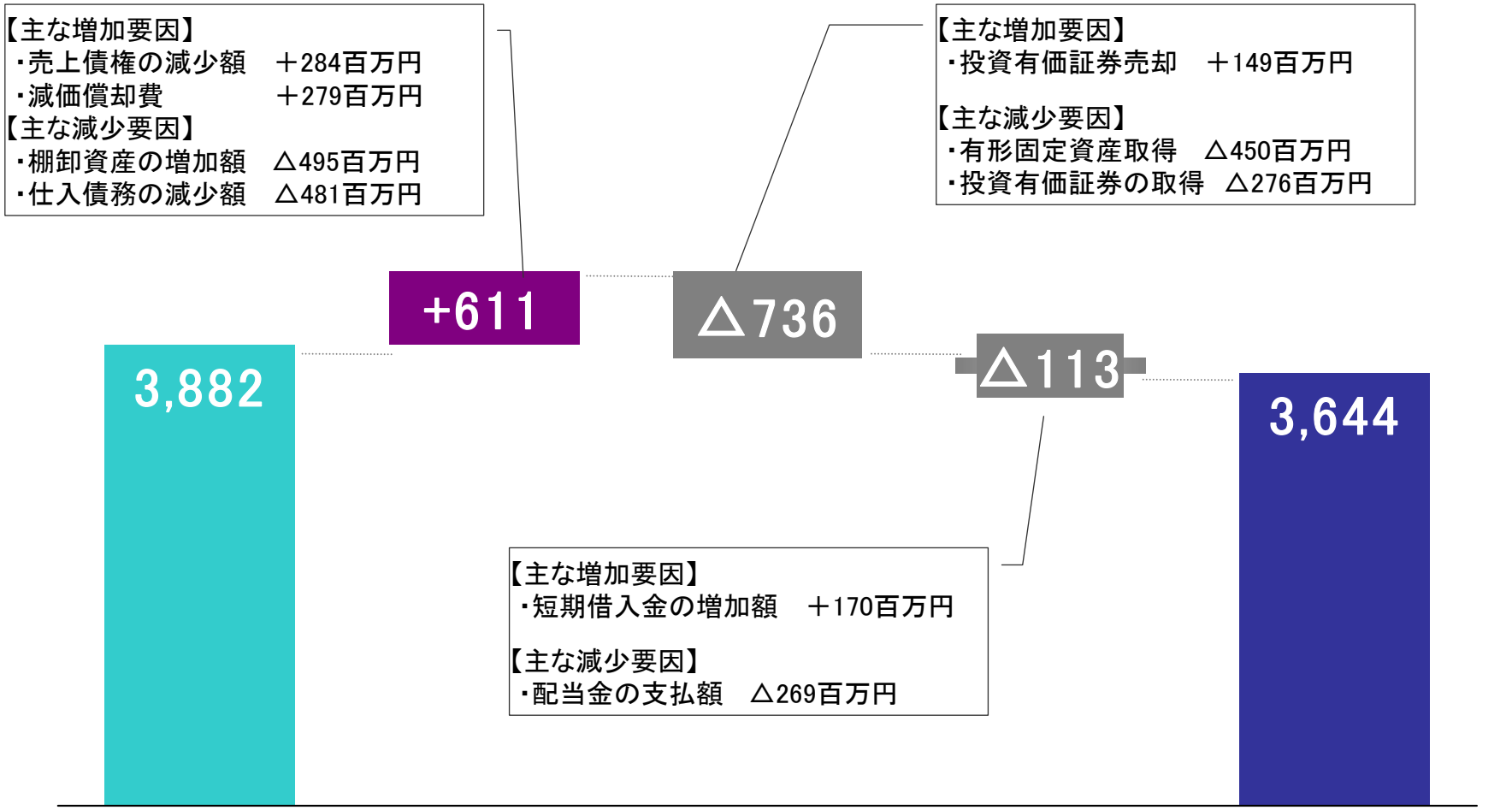
前年同期比較－営業利益

◆前年同期比　＋760百万円

（単体比較　+762百万円）



キャッシュ・フローの状況



（単位；百万円）

2011年3月期予想のポイント

◆保険償還価格引き下げによる影響

売上高の減少（前期比△3.1%）

売上総利益の減少（前期比△7.8%）

売上総利益率 △2.4ポイント

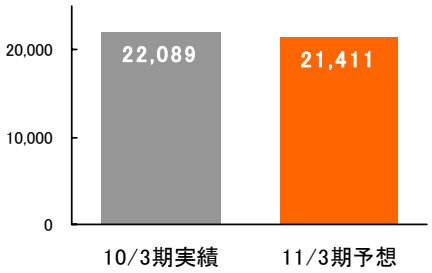
◆特別損失の計上

子会社生産設備の資産除去債務27百万円

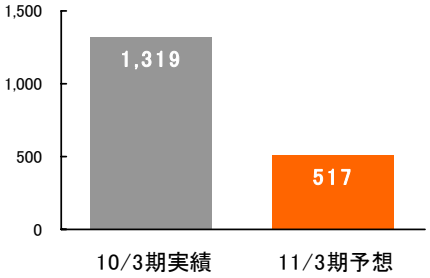
2011年3月期通期業績予想(連結)

(単位;百万円)	2010/3期実績		2011/3期予想		
	金額	構成比	金額	構成比	10/3比減少率
売　上　高	22,089	100.0%	21,411	100.0%	△3.1%
営 業 利 益	1,319	6.0%	517	2.4%	△60.8%
経 常 利 益	1,423	6.4%	527	2.5%	△62.9%
当期純利益	562	2.5%	89	0.4%	△84.0%

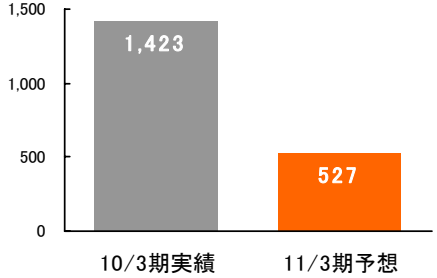
-売上高-



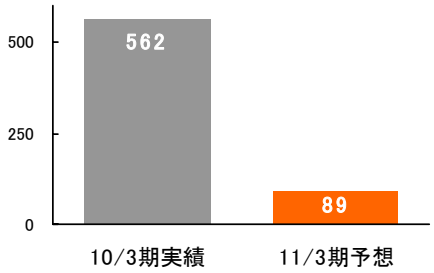
-営業利益-



-経常利益-



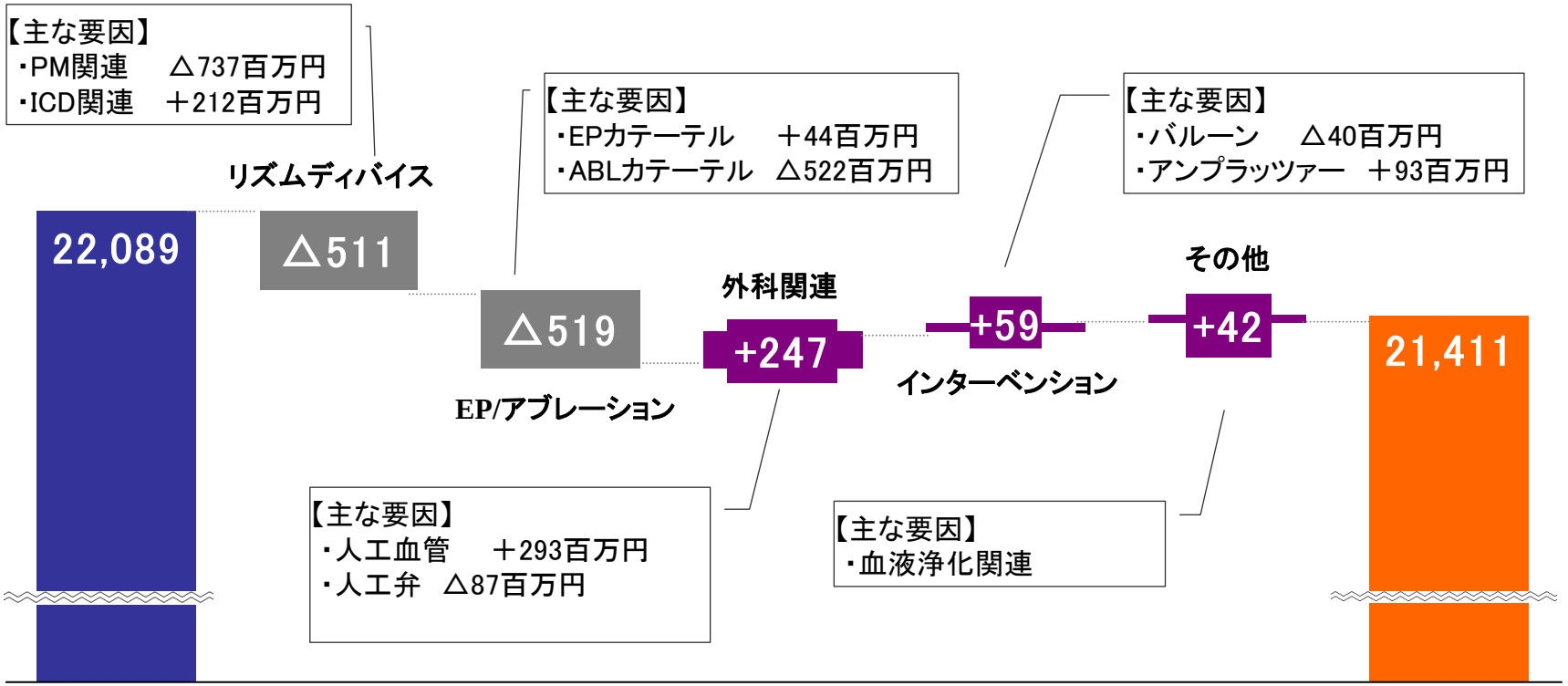
-当期純利益-



(単位:百万円)

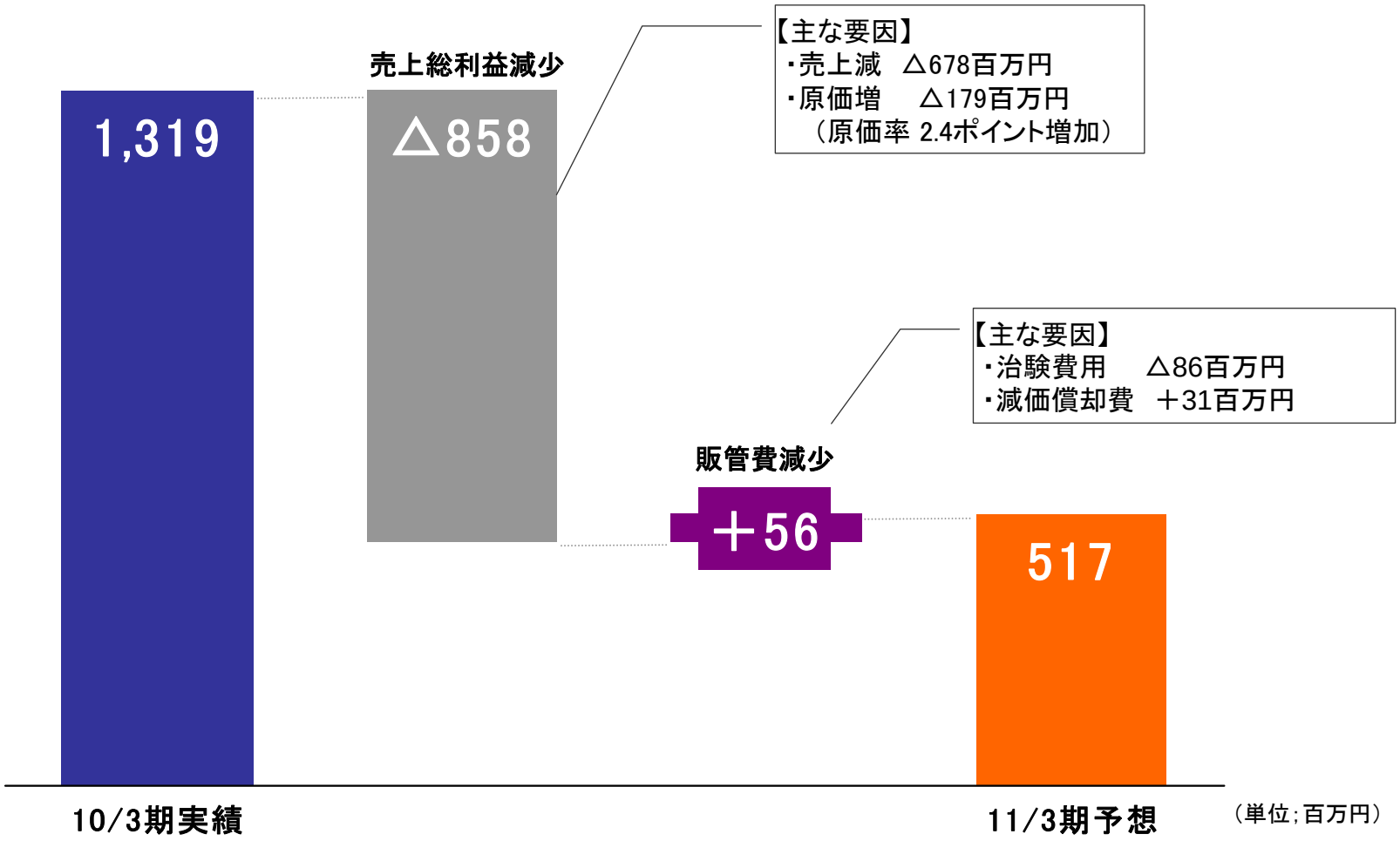
2011年3月期予想－売上高（連結）

◆2010年3月期比　△678百万円



2011年3月期予想－営業利益（連結）

◆2010年3月期比　△802百万円



補足データ

（単位；百万円）	2007/3期	2008/3期	2009/3期	2010/3期	2011/3期 予想
設　備　投　資　額	144	305	460	502	2,229
減　価　償　却　費	150	206	253	279	368
研　究　開　発　費	202	225	276	381	429
期末従業員数（名）	370	419	（単）430	（単） 453	（単）491
			（連）488	（連） 515	（連）557

(資料)要約損益計算書

(単位:百万円)

	2009/3期実績	2010/3期実績			2011/3期予想	
	単体	単体		連結	連結	
	金 額	金 額	前期比	金 額	金 額	前期比
売上高	19,419	20,373	4.9%	22,089	21,411	△3.1%
売上原価	9,629	9,825	2.0%	11,024	11,203	1.6%
売上総利益	9,790	10,547	7.7%	11,065	10,207	△7.8%
販管費	9,230	9,226	△0.1%	9,746	9,689	△0.6%
営業利益	559	1,321	136.3%	1,319	517	△60.8%
営業外収益	345	143	△58.5%	147	32	△78.2%
営業外費用	98	21	△78.2%	42	21	△49.8%
経常利益	805	1,442	79.1%	1,423	527	△62.9%
特別利益	9	4	△55.5%	4	0	△100.0%
特別損失	233	212	△8.9%	214	56	△73.5%
税前当期利益	581	1,234	112.3%	1,213	470	△61.2%
法人税等	395	646	63.6%	650	381	△41.4%
当期純利益	186	587	215.6%	562	89	△84.0%

（資料）セグメント別売上高

（単位：百万円）

	2009/3期	2010/3期		2011/3期予想		
	金額	金額	前期比	金額	前期比	
ペースメーカ関連	8,375	10,176	21.5%	9,439	△7.2%	
ＩＣＤ関連	1,312	1,351	3.0%	1,564	15.7%	
その他	71	75	5.4%	89	18.6%	
リズムディバイス計	9,759	11,603	18.9%	11,092	△4.4%	
ＥＰカテーテル	1,515	2,020	33.4%	2,065	2.2%	自社製品（一部除く）
ＡＢＬカテーテル	1,847	1,986	7.5%	1,464	△26.3%	自社製品
その他	173	104	△39.7%	63	△39.8%	
ＥＰ／ＡＢＬ計	3,536	4,112	16.3%	3,593	△12.6%	
人工弁	811	780	△3.8%	692	△11.2%	
人工肺関連	231	423	82.6%	465	9.9%	
人工血管	2,510	773	△69.2%	1,066	37.9%	自社（子会社）製品
外科関連計	3,553	1,976	△44.4%	2,224	12.5%	
バルーン	900	899	△0.1%	858	△4.5%	
ガイドワイヤー	420	485	15.5%	506	4.3%	自社製品
アンプラッツァー	495	571	15.3%	664	16.3%	
その他	752	913	21.4%	899	△1.6%	フィルトラップ含む
インターベンション計	2,568	2,869	11.7%	2,928	2.1%	
その他	―	1,529	―	1,571	2.8%	子会社販売製品
合計	19,419	22,089	13.8%	21,411	△3.1%	

Japan Lifeline Co., Ltd.

課題と展望

代表取締役社長
鈴 木　啓 介

リズムディバイスの現況

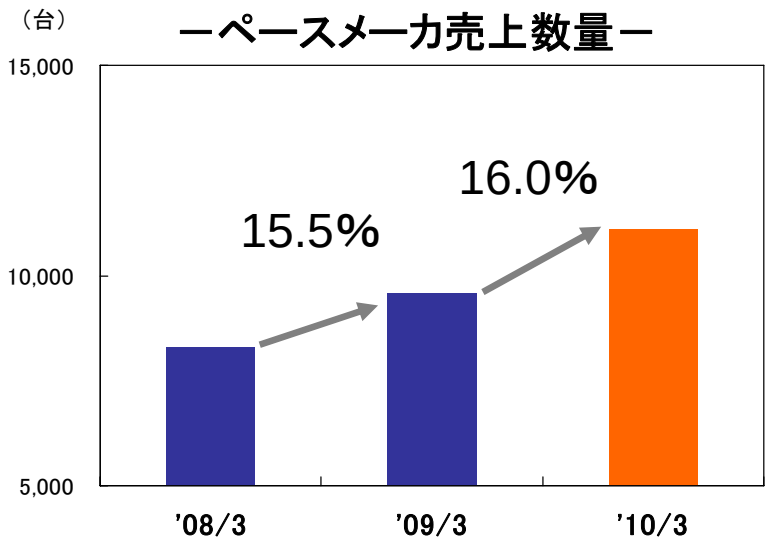
◆リズムディバイス売上高

ー当期売上高 11,603百万円(前期比18.9%増)

◆ペースメーカ関連売上高

ー当期売上高 10,176百万円
（前期比21.5%増）

ー売上数量
2年連続で15%超の成長



ソーリングループ製品へ変更後、着実に市場へ浸透

リズムディバイスの来期見通し①

◆保険償還価格の引き下げによる影響

ー来期売上高 11,092百万円（当期比△4.4%）

販売数量の増加を上回る価格の引き下げ

（ペースメーカ主力機種（Ⅳ型）で12.8% の引き下げ（133万円→116万円））

◆新製品の投入により価格引き下げに対応

ーICD 「Paradym VR/DR」 2010年7月発売予定

ーCRT-D 「Paradym CRT」 2010年第4Q承認予定

リズムディバイスの来期見通し②

◆ICD「Paradym VR/DR」を発売

ー本年7月より販売開始予定

ーICD関連来期売上高1,564百万円

（当期比15.7%増）（CRT-D含む）

【Paradym（パラダイム）VR/DR】
- ー現行商品 「Ovatio」の後継商品
- ー高出力、長寿命でありながらコンパクトを実現
- ー心不全を予測するモニタリング機能を搭載
- ー保険償還価格 3,210,000円（Paradym DR）



ICD「Paradym DR」

リズムディバイスの来期見通し③

◆CRT-D「Paradym CRT」

- 2011年3月期第4Q　販売開始予定
- ソーリングループ製としては国内初となるCRT-D
- 拡大が予想されるCRT-D市場への再参入を果たす
- 利益面での貢献も期待

【Paradym（パラダイム）CRT】
- 最高クラスの高出力
- 独自の頻脈治療機能を搭載
- 保険償還価格　4,190,000円



CRT-D「Paradym CRT」

リズムディバイスの来期見通し④

◆新ブランド「J-Line」設立

J-Line

ー「J・Cath」、「J Graft」に次ぐ第3の自社ブランド

ー第1弾として心臓ペースメーカリード
「Petite（ペティート）」を本年5月に発売

Petite（ペティート）

【Petite（ペティート）】
ー完全断線やショートのリスクを低減する独自構造を採用
ー製造元　オスコー社（Oscor Inc.）
ー保険償還価格　155,000円

EP/アブレーションの現況

◆アブレーションカテーテル増加を維持

－当期売上高 1,986百万円(前期比 7.5%増)

－競合製品による影響が想定を下回る

◆EPカテーテルの伸長

－当期売上高 2,020百万円(前期比 33.4%増)

－「EPスター・リベロ」をはじめ既存製品が好調



EP Star Libero

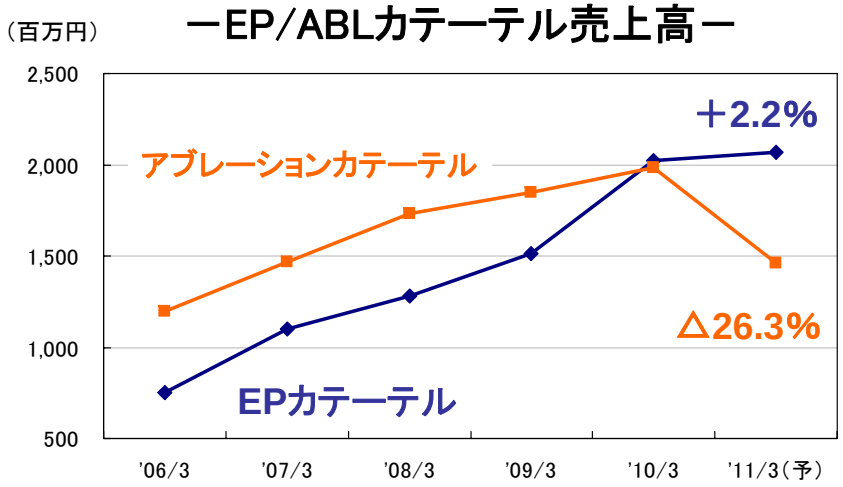
J·Cath
JAPAN LIFELINE CO., LTD.

EP/アブレーションの来期見通し

◆アブレーションカテーテル

ー来期売上高1,464百万円
（当期比△26.3%）
競合製品の影響から、
販売数量減を見込む

ーEP/ABLカテーテル売上高ー



◆EPカテーテル

ー来期売上高2,065百万円（当期比2.2%増）
ー中国市場への参入
2012年3月期EPカテーテル上市
2015年3月期 売上高10億円を目指す

J·Cath
JAPAN LIFELINE CO., LTD.

自社製造製品の現況

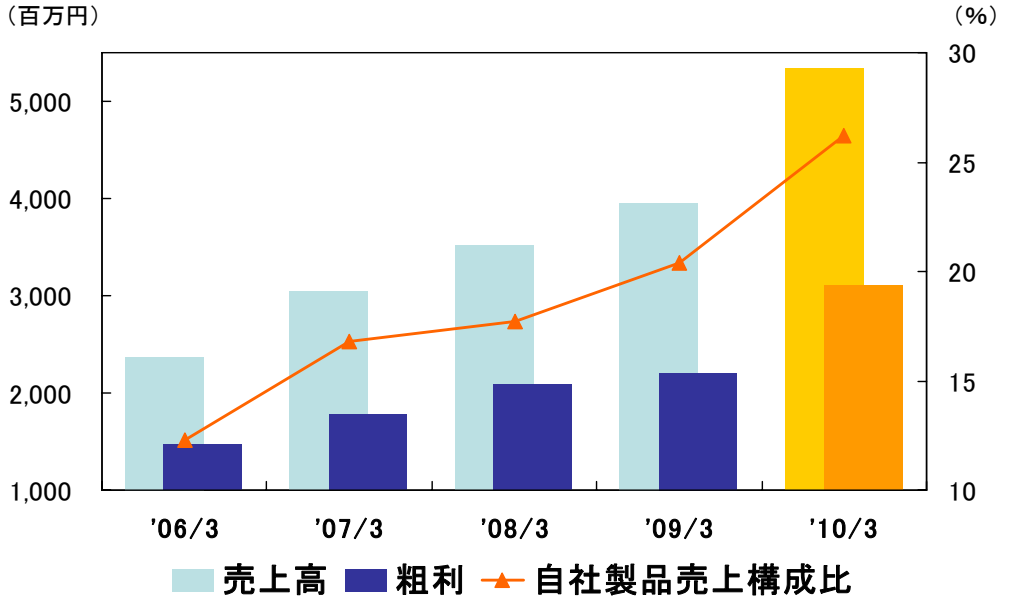
◆自社グループ製人工血管により構成比増加

－売上高 5,343百万円

構成比 当期26.2%（前期20.4%） （単体ベース）

－粗利高 3,099百万円

構成比 当期29.4%（前期22.5%） （単体ベース）



自社製造製品の来期見通し

◆自社製造製品

－来期売上高 4,991百万円（当期比△6.5%）

－競合製品の影響によりアブレーションカテーテル減少

－ガイドワイヤーは増加

◆浮間ファクトリーの拡大移転

－生産能力拡大のため

－埼玉県戸田市に用地取得済み

－敷地面積　約880坪（現浮間ファクトリーの2.4倍）

－移転予定　2012年4月

人工血管の現況と来期見通し

JGraft

◆自社グループ製品へ変更のため当期は減少

－当期売上高773百万円(前期比△69.2%)

－供給能力を上回る顧客需要

当期売上高 当初予想比60.4%増

◆2011年3月期より増加

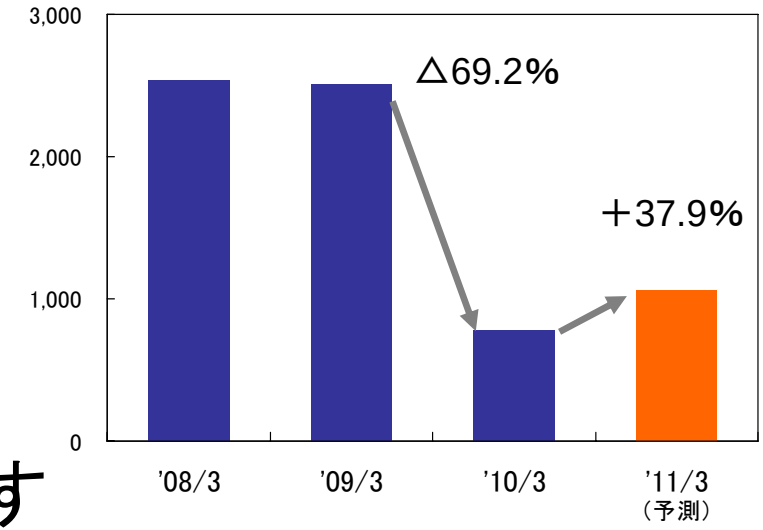
－来期売上高1,066百万円

(当期比37.9%増)

新工場の稼動(11月)による

－早期の売上規模回復を目指す

－人工血管売上高－



人工血管の来期見通し

JGraft

◆新工場の稼動開始

－稼動予定：2010年11月

－延床面積 現工場の約3倍

－生産能力 約3倍

【JUNKEN MEDICAL市原工場】

－所在地：千葉県市原市
－敷地面積：4857㎡
－延床面積：3444㎡（2階建）



人工弁の現況と来期見通し

◆2010年3月期は微減

－当期売上高780百万円（前期比△3.8％）

－市場トレンドは機械弁から生体弁へ

◆2011年3月期は減少

－来期売上高692百万円（前期比△11.2％）

－早期の生体弁・僧房弁リングの導入を目指す
2012年上期上市予定



生体弁「Mitroflow」

インターベンションの現況

◆ガイドワイヤーの新製品が牽引

ー当期売上高485百万円（前期比15.5%増）

「アスリートプレミアム」が好調

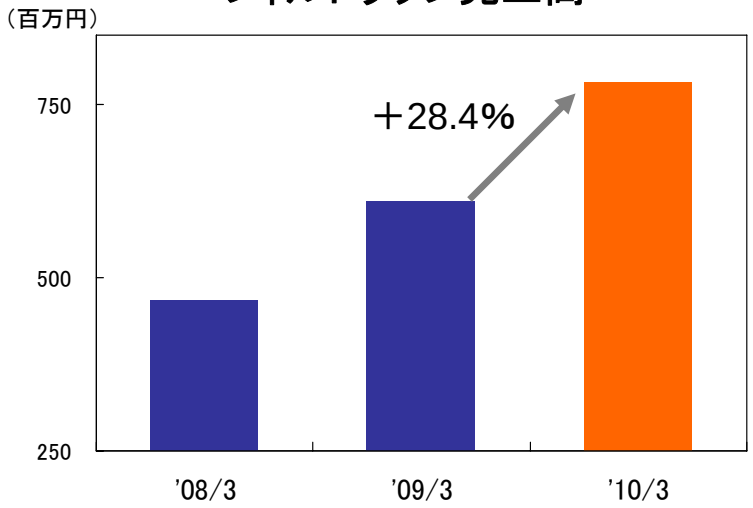
旧モデル「アスリートGT」に比べ原価低減

◆フィルトラップが好調に推移

ー当期売上高783百万円

（前期比28.4%増）

ーフィルトラップ売上高ー



インターベンションの来期見通し

◆バルーンカテーテル

ー保険償還価格21.3%引下げにより、
来期売上高858百万円(当期比△4.5%)

ー新商品「LIFESPEAR」の拡販により
販売数量 当期比20.9%増を見込む

LIFESPEAR

【LIFESPEAR(ライフスピア)】

製品特長
優れた病変部通過性を発揮
・滑らかな先端形状
・親水性コーティング技術の向上

◆ガイドワイヤーは売上増をキープ

ー販売数量 当期比9.8%増

ー来期売上高506百万円(当期比4.3%増)

アンプラッツァーの現況

◆アンプラッツァーは順調に売上規模を拡大

ー当期売上高571百万円（前期比15.3%増）

◆新製品がラインナップに加わる

ーASD（心房中隔欠損症）用デバイスの他、
昨年7月よりPDA（動脈管開存症）用デバイスの販売を開始



心房中隔欠損症用デバイス
「アンプラッツァー・セプタル・オクルーダー」
保険償還価格　809,000円



動脈管開存症用デバイス
「アンプラッツァー・ダクト・オクルーダー」
保険償還価格　332,000円

アンプラッツァーの来期見通し

◆アンプラッツァー商品の浸透を進める

ー来期売上高664百万円（当期比16.3%増）

ー認定施設数 20→30施設以上

成人施設への基準適用による（従来は小児施設中心）

◆保険償還価格の引き下げなし

ー商品の持つ高い新規性による

◆商品ラインナップのさらなる拡充

ー末梢血管塞栓術用デバイス

2013年上期上市予定



「アンプラッツァー・バスキュラー・プラグ」

中期目標

-2015年3月期に向けて-

業績の端境期から収穫期へ

2011年3月期

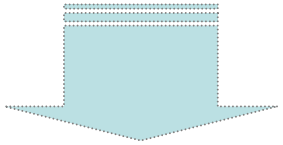
◆新製品投入のための先行投資

新商品承認手続き・治験の実施

◆グループ生産体制の確立

人工血管新工場の稼動

◆保険償還価格引下げによる一時的減収



中期的な成長へ向けた準備

業績の端境期から収穫期へ

2012年3月期～2015年3月期

◆CRMビジネスの安定成長

ICD、CRT-D、リモートモニタリング搭載ペースメーカ、MRI対応ペースメーカ

◆自社製品の拡充

JLL新工場稼動、海外展開、電極カテーテル新製品

◆オンリーワン商品の拡充

アンプラッツァー商品拡充（PFO、AVP）

◆外科ビジネスの再構築

生体弁、人工弁輪（リング）、ステントグラフト

◆インターベンションラインナップの充実

PTAバルーンカテーテル、マイクロカテーテル

2015年3月期

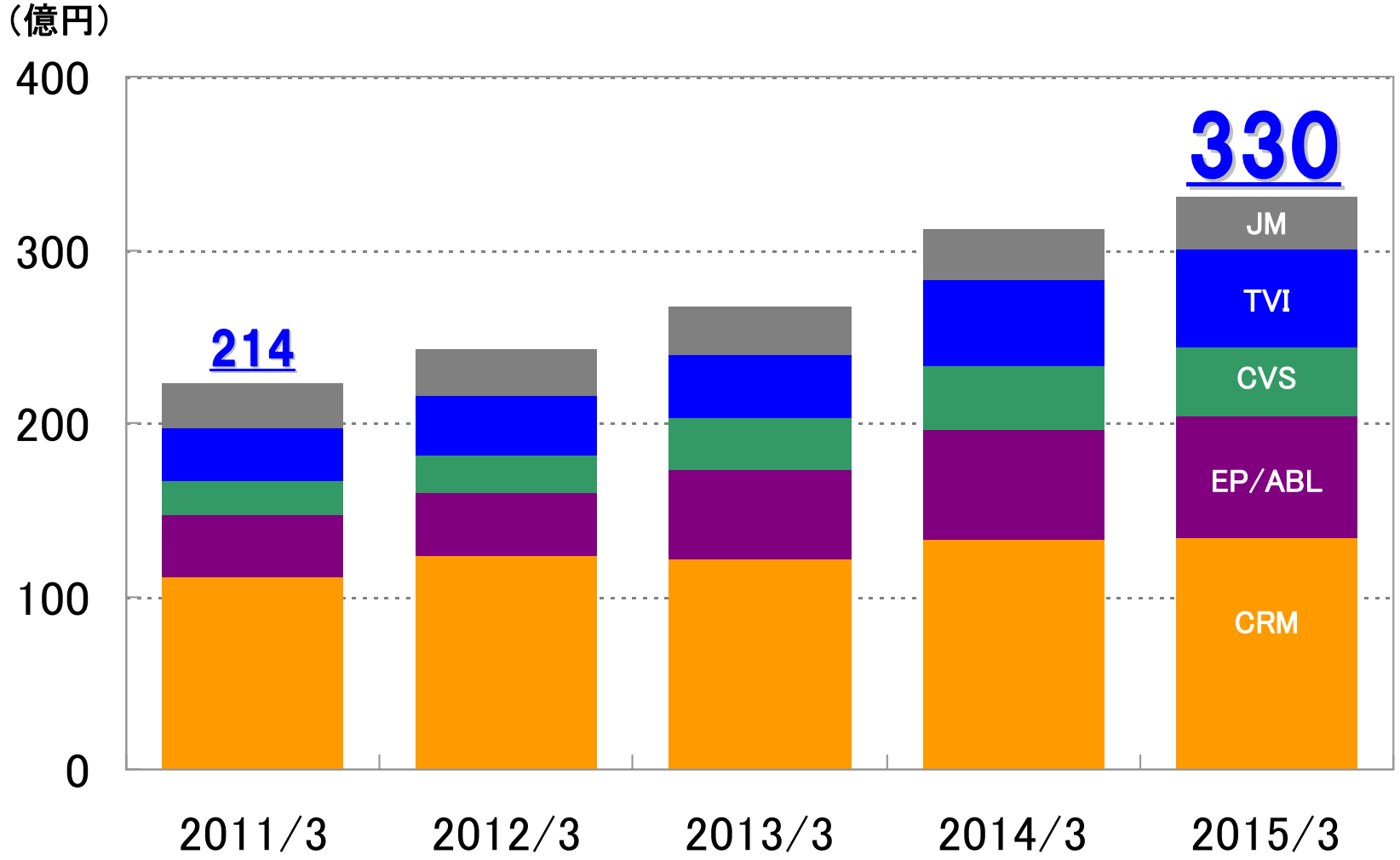
JLL単体売上高

300億円

JLLグループ連結売上高

330億円

グループ計画売上高


（億円）
400
300
200
100
0
214
330
JM
TVI
CVS
EP/ABL
CRM
2011/3
2012/3
2013/3
2014/3
2015/3

自社製品比率

2010年3月期 vs 2015年3月期

売上高

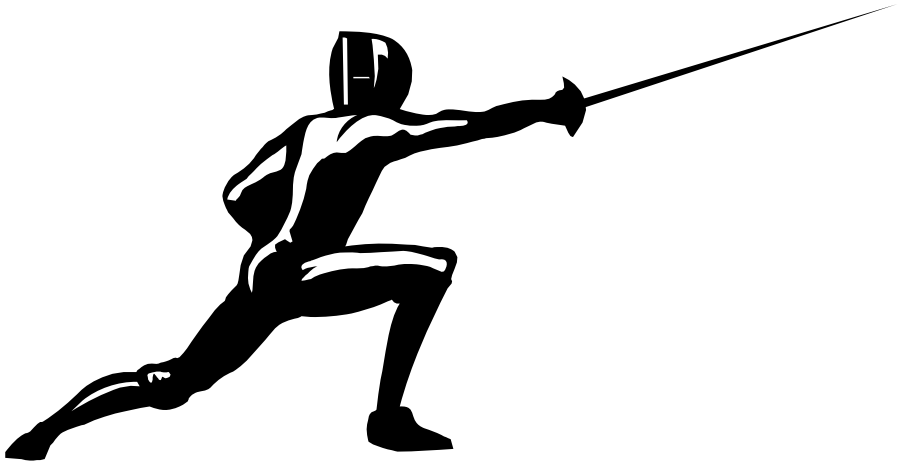
26.2% → 32%

粗利高

29.4% → 35%

2011年2月6日
創業30周年

さらなる飛躍に向け
5ヵ年計画で
30周年を突き抜ける



End of Presentation



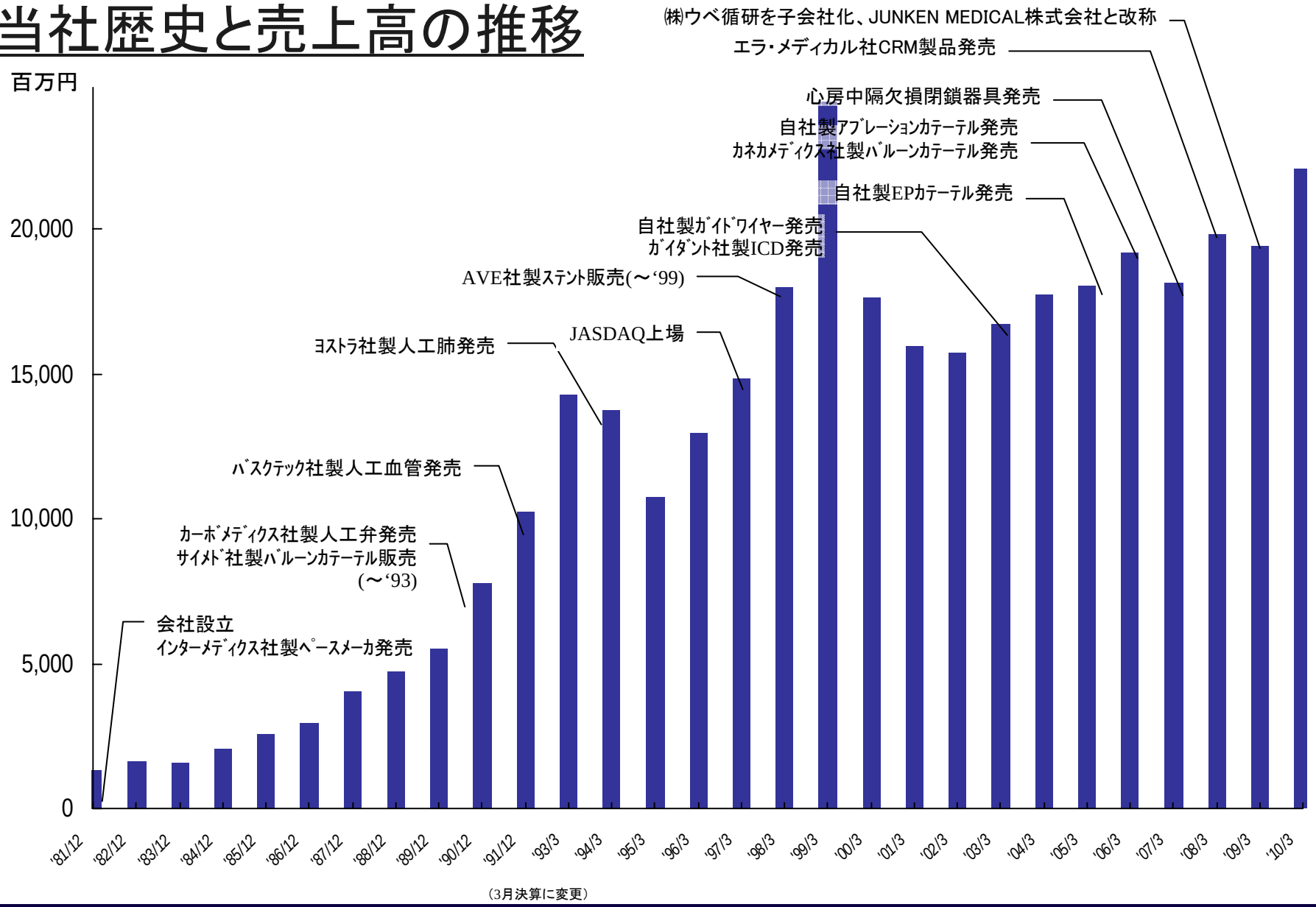
... for patient comfort.

Japan Lifeline Co., Ltd.

(参考)会社概要

【商　　号】日本ライフライン株式会社
【代 表 者】代表取締役社長　鈴木　啓介
【本　　社】東京都品川区東品川2-2-20天王洲郵船ビル
【設　　立】1981年2月6日
【上　　場】1997年12月8日（JASDAQ）
【証券コード】7575
【事業内容】医療機器の輸入、製造および販売
【資 本 金】2,115百万円
【従業員数】連結 515名/単体 453名（2010年3月末現在）
【事 業 所】営業拠点（29ヶ所）、
ディストリビューションセンター
リサーチセンター、浮間ファクトリー
天王洲ACCADEMIA（研修センター）

当社歴史と売上高の推移



（3月決算に変更）

事業領域

当社は創業以来、不整脈や心筋梗塞等の心疾患を治療するための医療器具を扱っており、事業領域はリズムディバイス、EP/アブレーション、外科関連、インターベンション、その他の5つに大別されます。

EP/アブレーション
不整脈の検査や治療を行うための、ディスポーザブル式の電極のついたカテーテル（細い管）を扱います。

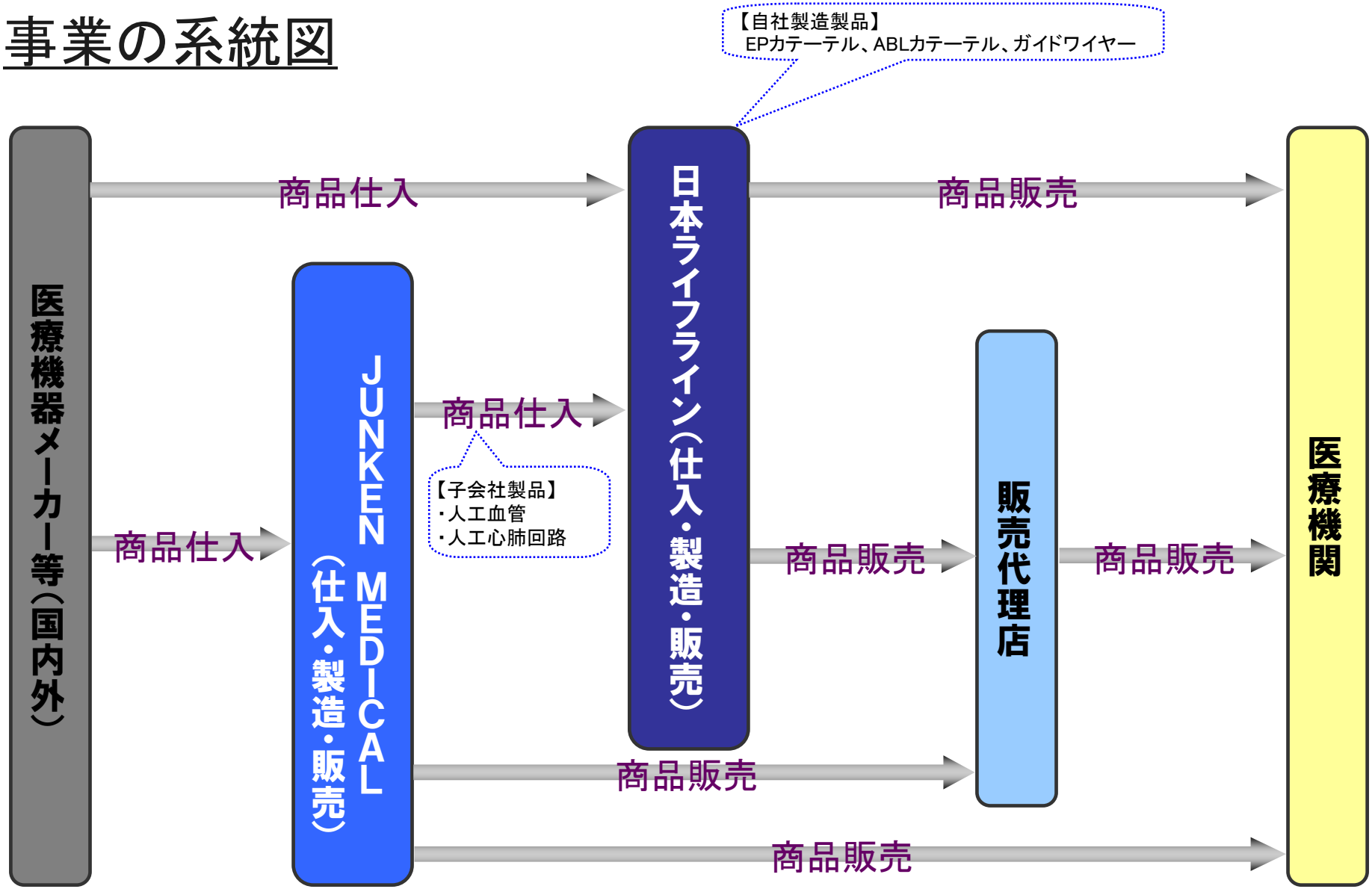
リズムマネジメント
不整脈（心臓の拍動が正常よりも遅くなるまたは早くなる状態）を治療する、主に体内植込み型の器具を扱います。



インターベンション
カテーテル（細い管）を皮膚を通して血管に挿入し、心筋梗塞等の治療を行う器具を扱います。外科手術に比べ、患者さんへの負担が小さい治療法です。

外科関連
本来の機能が失われてしまった血管や、心臓の弁を、外科手術により人工の器官に置き換え、治療するための器具を扱います。

事業の系統図


【自社製造製品】
EPカテーテル、ABLカテーテル、ガイドワイヤー
医療機器メーカー等（国内外）
商品仕入
日本ライフライン（仕入・製造・販売）
商品販売
医療機関
JUNKEN MEDICAL（仕入・製造・販売）
商品仕入
【子会社製品】
・人工血管
・人工心肺回路
販売代理店
商品販売
商品販売
商品販売
商品販売

商品紹介:リズムデバイス



心臓の拍動が正常よりも遅くなる不整脈(徐脈)に対して、人工的に電気刺激を与えることで拍動を保ちます。

心臓ペースメーカ

(SORIN GROUP社製)

心臓の拍動が異常に早まる不整脈(頻脈)のうち、致死性の不整脈である心室細動の発生を検知し、電気ショックを与えることで、拍動を正常な状態に戻します。



ICD(植込み型除細動器)

(SORIN GROUP社製)

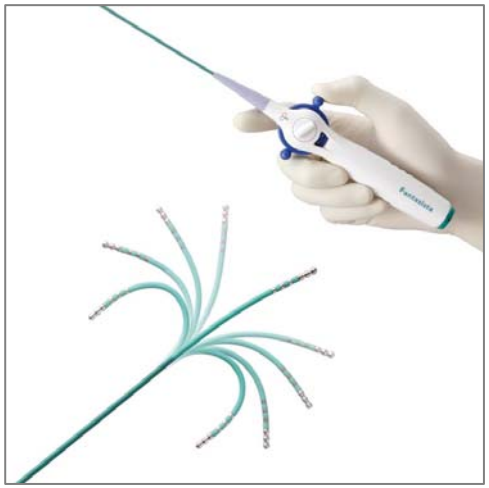


ホルター心電計

(Ela Medical社製)

長時間の心電図を記録することで、短時間で出現しない異常や日常生活での心臓の状態を記録します。

商品紹介：EP/アブレーション



アブレーションカテーテル

（自社製造製品）

頻脈の原因となる心臓内の異常な電気刺激の経路を、カテーテル先端部の電極から流す高周波電流により焼き切り治療します。



EP（電気生理用）カテーテル

（自社製造製品）

不整脈の診断や治療方法の適応を判断するための検査に用いられます。カテーテル先端に電極がついており、心臓内の電位を測定したり、不整脈を誘発させることで原因を特定します。

J·Cath
JAPAN LIFELINE CO., LTD.

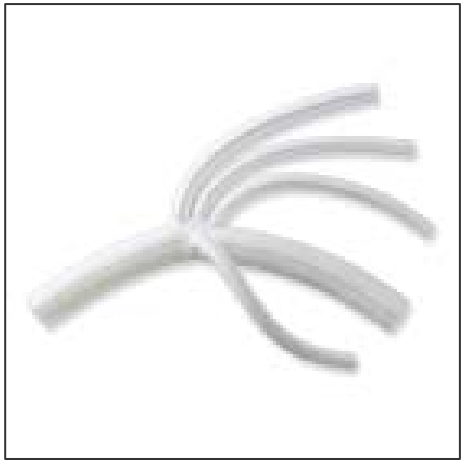
商品紹介：外科関連



人工心臓弁

（Carbomedics社製）

心臓内の血液の逆流を防ぎ、正しい流れを保つために機能している心臓弁が、十分に開かなくなったり、完全に閉じなくなった場合に、人工心臓弁に置き換え、本来の機能を回復させます。



人工血管

（JUNKEN MEDICAL社製）

動脈瘤（動脈の壁に瘤ができ、場合によっては破裂、出血する）などで痛んだ血管を切り取って人工血管に置き換えたり、バイパスとして使用します。

人工弁付血管

(Carbomedics社製)



人工心臓弁と人工血管が一体となっており、大動脈弁と弁につながる動脈を同時に交換する場合に用いられます。

人工肺

（Sorin Group社製）



心臓の外科手術を行う場合、一時的に心臓を停止させ、人工心肺装置により血液を循環させますが、その際血液中の二酸化炭素を除去し、酸素を供給する肺の働きをします。

商品紹介：インターベンション

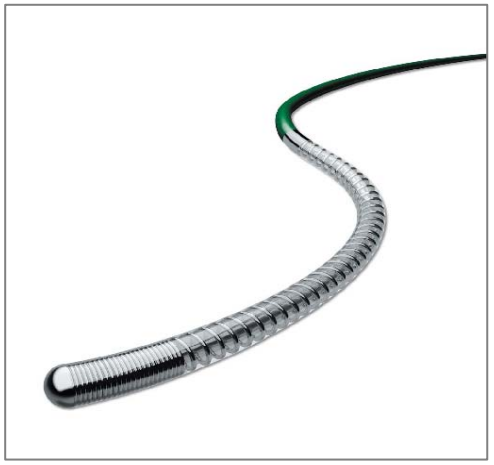


バルーンカテーテル

（カネカメディックス社製）

心臓の筋肉に酸素や栄養を送る血管（冠動脈）が詰まることが原因となる心筋梗塞や狭心症の治療に用いられます。血管の詰まった部分で風船（バルーン）を拡張させ、再度血流を確保します。

バルーンカテーテルを血管の詰まった部分に導くために用いられます。ガイドワイヤーを血管の詰まった部分の先まで通過させ、これに沿ってバルーンカテーテルを進めます。



ガイドワイヤー

（自社製造製品）

心房中隔欠損閉鎖器具

（AGA Medical社製）

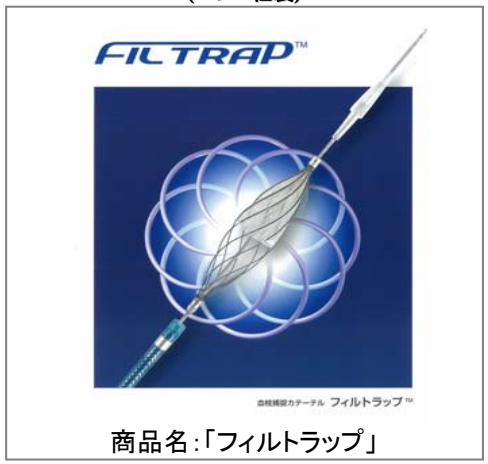


商品名：「アンプラッツァー」

先天的に心臓の左右の心房を隔てる壁に穴が開いている疾患（心房中隔欠損症）を、従来の外科手術ではなくカテーテルを用いて治療します。

血栓異物除去用カテーテル

（ニプロ社製）



商品名：「フィルトラップ」

血管内の浮遊血栓等の血管内異物を捕捉または除去するカテーテルです。バスケットがフィルター型のため血流を確保することができます。

■ご注意事項

本資料の記載内容のうち、歴史的事実でない事項は、日本ライフラインの将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。特に、商品や製品に関し、治験に関する事項、薬事法の承認に係る事項、および発売時期につきましては、過去の経験や入手可能な情報から得られた当社の予測であります。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要因の影響により、本資料記載の見通しと異なる可能性がありますので、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

本資料に関するお問い合せ先

日本ライフライン株式会社
経営企画室　山田
電話　03-6711-5214
Mail　ir@japanlifeline.com
URL　http://www.jll.co.jp



... for patient comfort.